

平成 26 年度	施設名 (愛称名)	下田市立稲生沢学校給食共同調理場	番号	97
----------	-----------	------------------	----	----

平成 26 年度

施設評価調書

施設の名称……稲生沢学校給食共同調理場

所管担当課……教育委員会学校教育課

平成 26 年 7 月

平成 26 年度

施設名 (愛称名)	下田市立稲生沢学校給食共同調理場
-----------	------------------

番号	97
----	----

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		H24 年度値	H25 年目標値	H25 年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等	108,848	90,930	103,384	94.9%	113.6%
	B 年間経費 (除く収入)	19,429,927	19,668,700	20,358,227	104.7%	103.5%
	B/A	178	216	196	110.0%	90.7%
②光熱水費		2,965,198	3,300,000	3,077,800	103.7%	93.2%
③消耗品費		874,100	650,000	970,198	110.9%	149.2%
効率性指標の考え方等		年間の実施給食回数×児童・生徒数（5月1日付け在籍数）で算出。 小学校： 180回 中学校： 180回 幼稚園： 165回				

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	
----------------	--

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策			
H26 年度効率性 の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B/A		
	②光熱水費	3,288,000	
	③消耗品費	740,750	

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
①利用単位 当たり 経費	目標値				
	A実績値				
	B実績値				
	B/A				
	対前年比				
	目標達成率				
②光熱水費	目標値 (予算)	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,288,000
	実績値 (決算)	2,886,722	2,965,198	3,077,800	0
	対前年比	87.4%	102.7%	103.7%	0
	目標達成率	87.4%	89.8%	93.2%	0
③消耗品費	目標値 (予算)	675,000	641,250	650,000	740,750
	実績値 (決算)	964,091	874,100	970,198	0
	対前年比	86.8%	90.6%	110.9%	0
	目標達成率	142.8%	136.3%	149.2%	0

平成 26 年度

施設名（愛称名）	下田市立稲生沢学校給食共同調理場
----------	------------------

番号	97
----	----

4 その他の指標

受益者負担 の適正性 ※調理にかかる 費用は公費負担 ※食材費は全額 保護者負担	区 分	説 明	単 位	H23 年度	H24 年度	H25 年度
	①使用料原価	徴収分の年間経費 (食材費)	円	26,841,100 円	26,390,100 円	24,930,400 円
	② 稼動割原価率	年間経費を年間収入で 賄えない比率	%	0%	0%	0%
	③ 1 m ² 1 時間 適正使用料	① ②	円	0 円	0 円	0 円
	④ 現行 1 m ² 1 時間使用料 の平均					
	⑤適正化計画					

運営に掛か る税負担 (市民負担)	年度		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度(予算)
	人口 (4 月 1 日 : 人)		24,881 人	24,515	24,230	23,864
	人口 1 人あ たり (円/人)	運営経費(収入除く)	977	792	840	843
		年間総経費	1,020	792	840	843

平成 26 年度	施設名 (愛称名)	下田市立稲生沢学校給食共同調理場	番号	97
----------	-----------	------------------	----	----

利用者満足度調査

実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	調査の方法	アンケート・意見交換	H25 年度調査数	21 件
○学校給食運営審議会での試食会にて実施。					
1 調査結果					
設問	回答種類	H25 年度回答数 (21 件)		H24 年度回答数 (26 件)	
給食の分量について	1: 少ない 2: やや少ない 3: 普通 4: やや多い 5: 多い	1: 0% 2: 0% 3: 76.2% 4: 19.0% 5: 4.8% 回答なし: 0	1: 0% 2: 11.5% 3: 84.6% 4: 0% 5: 0% 回答なし: 3.8		
味付けについて	1: 薄い 2: やや薄い 3: 普通 4: やや濃い 5: 濃い	1: 0% 2: 19.0% 3: 61.9% 4: 19.0% 5: 0% 回答なし: 0	1: 0% 2: 3.8% 3: 76.9% 4: 15.4% 5: 0% 回答なし: 3.8		
彩りについて	1: 悪い 2: やや悪い 3: 普通 4: やや良い 5: 良い	1: 0% 2: 14.3% 3: 57.7% 4: 9.5% 5: 19.0% 回答なし: 0	1: 0% 2: 7.7% 3: 57.7% 4: 15.4% 5: 15.4% 回答なし: 3.8		
全体について	1: 悪い 2: やや悪い 3: 普通 4: やや良い 5: 良い	1: 0% 2: 0% 3: 81.0% 4: 4.8% 5: 14.3% 回答なし: 0	1: 0% 2: 3.8% 3: 38.5% 4: 38.5% 5: 15.4% 回答なし: 3.8		
家庭との分量と比べて	1: 少ない 2: やや少ない 3: 普通 4: やや多い 5: 多い	1: 4.8% 2: 9.5% 3: 66.7% 4: 9.5% 5: 9.5% 回答なし: 0	1: 11.5% 2: 46.2% 3: 38.5% 4: 0% 5: 0% 回答なし: 3.8		
給食日より等を家庭でもご覧になりますか	1: 見ない 2: あまり見ない 3: 見る 4: やや見る 5: よく見る	1: 9.5% 2: 0% 3: 33.3% 4: 23.8% 5: 23.8% 回答なし: 9.5	1: 3.8% 2: 19.2% 3: 34.6% 4: 23.1% 5: 15.4% 回答なし: 3.8		
アンケートの記入欄:					
2 調査結果から読み取れること					
学校給食は子どもにとって、栄養を考えた食事内容であり、児童・生徒の見本となる食事形態である。保護者についても、試食会等を通じて学校給食の意義や内容について理解を得ることができる。					
3 次年度以降への改善点					
現在使用している食器は、ワンプレート等、学校毎に種類が異なっている。食育の観点からも、茶碗、汁碗の使用が望ましい。現状の施設では、保管スペースなどの問題があるため、新給食センターになった際には、個々の食器使用が可能なのように対応予定。					

施設修繕計画及び備品購入計画

破損年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考 (修繕済年度等)
H25	フードスライサー購入	856,800 円		H25 年 購入済み
H25	コンセント修繕	77,700 円		H25 年 修繕済
H25	ステンレス調理台修繕	91,623 円		H25 年 修繕済
H25	網戸修繕	54,863 円		H25 年 修繕済
※今後想定される維持管理事項 調理機器関係 (食器乾燥保管庫・食器洗浄機等) は、調理場開設当初より使用しているため、修繕が必要となった場合には、交換する部品等が入手不可となってきている。調理場内で雨漏りが生じているため修理が必要。				

平成 26 年度

施設名（愛称名）

下田市立稲生沢学校給食共同調理場

番号

97

管理運営上のその他評価項目

<p>当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性</p>	<p>現在、文部科学省の衛生管理基準に基づき、児童・生徒への給食提供を行っている。しかし、現在の調理場では、衛生管理基準の中で明記されている汚染区域・非汚染区域などの基本的な区別がされていないため、適切な衛生管理ができていない状況である。 成長期の児童・生徒への給食提供は、望ましい食習慣・食の重要性を学ぶための教育の一環であるため、施設の設置は必要である。</p>
<p>民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性</p>	<p>調理・配送を委託することは、可能である。 しかし、施設設備の老朽化が激しいために、現状での委託は難しい。 新設をした場合には、調理・配送についての委託は、十分可能である。 また、委託をした場合、食材や衛生管理については文部科学省の基準に基づき、委託者側で管理を行うので問題はないと考える。 但し、委託業者については、学校給食の経験がある業者としたい。</p>
<p>施設の管理運営と経費の妥当性</p>	<p>施設・設備の老朽化が激しく、早急に建設が必要。児童・生徒も減少傾向にあるため、市内同一施設を1箇所を集約したほうが良い。 また、正規職員の退職不補充のため、1名の正規職員に対し経験の浅い臨時職員のため、作業工程においても時間がかかる傾向にあり、両者に対しても過重労働となっている。</p>
<p>施設の性質や実費経費からみた受益者負担の妥当性</p>	<p>学校給食は、保護者からは食材費のみを徴収しており、人件費・光熱水費などについては、公費負担となっている。 施設の新規建設を行うことで、衛生的な環境での給食提供が可能となる。 また、現在、各施設の状況に応じた献立となっているが、新設をした場合には、市内統一献立の提供が可能になり、教育の公平性が保たれる。</p>
<p>その他の管理運営上の課題</p>	<p>正規職員の退職及び配置。臨時職員の管理等。 新設した場合の運営方法。</p>
<p>【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等</p>	<p>賀茂管内の学校給食施設については直営方式だが、伊豆市・伊豆の国市・三島市・長泉町では、調理から配送までを民間委託。 河津町では、下田市と同様に正規職員1名の他、臨時職員で対応。 東伊豆町では、臨時職員が調理から配送までの業務を実施。</p>

平成 年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項

平成 26 年度

施設名 (愛称名) 下田市立稲生沢学校給食共同調理場

番号 97

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立稲生沢学校給食共同調理場		2 担当課 担当係	学校教育課 学校教育係																							
3 所在地	下田市立野 147 番地		4 設置年月	昭和 52 年 12 月 1 日																							
5 総合計画の 位置付け	Ⅱ. 人が輝くまちづくり		未来の人づくり		学校教育																						
	基本目標		自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」																								
	基本目標を実現 するための施策		項目 共同調理場整備事業		内容 学校給食センター統合新築																						
6 設置目的																											
7 設置根拠	下田市学校給食共同調理場設置条例																										
8 施設の概要	施設の概要		昭和 52 年 11 月 30 日竣工 建築面積 284 m ² 鉄骨一部二階建																								
			平成元年 1,200 食 平成 8 年 910 食 (0-157 の関係)																								
	実施事業 の概要		平成 26 年度 稲梓小学校 100 食 稲梓中学校 47 食 稲生沢小学校 197 食 稲生沢中学校 131 食 小学校計 297 食 中学校計 178 食 合計 : 475 食																								
	料金区分		給食費 (給食会計) 平成 21 年 3 月改定 幼稚園 月額 4,100 円 小学校 月額 4,200 円 中学校 月額 5,000 円																								
	料金体系		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">種別</td> <td rowspan="2">単位</td> <td>昼</td> <td>夜</td> <td>昼夜</td> <td rowspan="2">備考</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				種別	単位	昼	夜	昼夜	備考															
	種別	単位	昼	夜	昼夜	備考																					
減免内容																											
利用料金制度		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無																									
施設運営 方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 → 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部委託 → 委託内容																									
直接従事職員		正規職員 : 1 名 臨時職員 : 6 名																									
9 市内の 類似施設	下田市所有	共同調理場 (浜崎・稲生沢) 2 箇所 単独調理場 (下田・朝日) 2 箇所																									
	民間所有																										

平成 26 年度

施設名 (愛称名) 下田市立稲生沢学校給食共同調理場

番号 97

10 取得費等の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳		平成 24 年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価 1 円 ・ 新設翌年度から償却 ・ 耐用年数 34 年 (S52.1~S23.10)	
	土地取得費		土地残高				
	建物取得費	29289,000 円	建物減価償却後残高	0 円			
	財源内訳						
	国・県支出金						
	市債		市債残高				
	一般財源						
	寄附金等						
	物品(*万円以上)		物品減価償却後残高				
11 年間経費等推移 (単位：円)	区 分		H23 年度決算	H24 年度決算	H25 年度決算	H26 年度予算	
	収入						
	収 入 合 計						
	支出	2 節 給与	7,736,286	3,746,850	3,409,475	3,530,750	
		3 節 職員手当等	2,922,441	1,352,247	1,163,958	1,192,750	
		4 節 共済費	2,042,729	1,006,701	911,278	989,000	
		7 節 賃金	6,344,440	8,101,279	8,603,255	8,668,000	
		9 節 旅費	0	0	0	0	
		11 節 需用費	4,378,949	4,702,326	4,629,724	4,704,750	
		12 節 役務費	261,972	266,682	277,195	286,070	
		13 節 委託費	25,935	25,935	25,935	27,000	
		14 節 使用料及び借地料	14,910	14,910	238,782	258,000	
		18 節 備品購入費	534,975	155,497	1,041,125	405,000	
		19 節 負担金補助及び	27,500	26,000	26,000	26,000	
	27 節 公課費	31,500	31,500	31,500	32,000		
	支出合計		24,321,637	19,429,927	20,358,227	20,119,320	
減価償却費		861,442 円	0 円	0 円	0 円		
市債利子							
職員人件費							
下田市負担年間総経費		25,183,079 円	19,429,927 円	20,358,227 円	20,119,320 円		
備 考							
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H23. 5. 1	H24. 5. 1	H25. 5. 1	H26. 5. 1	
		利用者数	小学校	357 人	344 人	311 人	297 人
			中学校	166 人	172 人	174 人	178 人
			幼稚園	27 人	23 人	22 人	0 人
			合計	550 人	539 人	507 人	475 人
	参考：利用単位 当たり市負担額	45,787 円/人	36,048 円/人	38,794 円/人	42,356 円/人	算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数	
	休日	祝祭日、土日、夏季、冬季、春季休み					
勤務時間	正規職員：8:00~16:45 臨時調理員：8:30~15:30 臨時運転手：10:30~15:30						

(参考資料)